

ワークライフバランスフェスタ東京2013



WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2013

働き方を見直すいきいき職場を応援！ 平成25年2月7日 東京国際フォーラム 展示ホール(2)



パネルディスカッション
コーディネーターの
膳場 貴子氏(キャスター)

去る2月7日(木)、東京国際フォーラム展示ホール(2)にて、本年で5回目となる東京都主催による「ワークライフバランスフェスタ東京2013」が開催されました。このイベントは、WLBに取り組み企業の紹介や各種セミナー等を通じて取組効果・手法を発信し、都内中小企業の雇用環境整備を進めることを目的としたものです。

当日は、平成24年度東京ワークライフバランス認定企業への認定状授与式や、キャスター膳場貴子氏の進行のもと、パネリストとしてWLBの有識者等を迎えたパネルディスカッションや、(株)東レ経営研究所 特別顧問 佐々木常夫氏による基調講演が行われました。

更に、「フェスタ5周年記念企画」として、WLBの初歩的知識から実践的なものまで、来場者それぞれに合った学習ができるような

イベントが行われました。来場者参加型プログラムでは、自らのキャリアデザインを考えるワークショップや、「ワールドカフェ」が行われ、来場者同士がさかんに意見交換を行う様子が見受けられました。また、来場者全員に「ワークライフバランス検定」が配布されたほか、過去の認定企業の認定時と現況を比較したパネル展示やセミナーが行われました。

認定企業やWLB導入支援等を行う企業・団体ブースでは、来場者と活発な交流をしている様子も見受けられるなど、WLBへの関心が高まっていることを感じさせました。



東京ワークライフバランス認定企業 認定状授与式

メインステージにおいて、平成24年度の認定企業10社へ、東京都産業労働局中尾局長より認定状が授与されました。あわせて、認定企業の代表者から取組のきっかけや内容、取組による成果などが紹介されました。

平成24年度 東京ワークライフバランス認定企業(4部門合計10社)

- ▼長時間労働削減取組部門：(学)川口学園
テラインターナショナル(株)
- ▼休暇取得促進部門：アルス(株)
- ▼育児・介護休業制度充実部門：サイボウズ(株)
(株)テイルウィンドシステム
(医)柏堤会奥沢病院
(株)マルヨシ
- ▼多様な勤務形態導入部門：大友不動産(有)
クラスメッド(株)
(株)テレワークマネジメント
- 夜間機械警備の導入による終業時間の徹底 等
定時退社推奨運動及び優秀者への表彰 等
法定超の休暇や様々な休暇制度の導入 等
生活の変化に応じて選択できる人事制度 等
社員間でサポートできる育児応援制度 等
24時間利用可能な院内保育室の設置 等
出産時、入学祝金制度の導入 等
在宅勤務制度及び正社員登用制度の導入 等
帰省が必要な社員への在宅勤務制度の導入 等
個人の生活に合わせたテレワークの実施 等



パネルディスカッション「WLBのはじめの一步～時代に求められるWLBとは～」

キャスターの膳場貴子氏進行のもと、独協大学教授・経済アナリスト 森永卓郎氏、(株)ワーク・ライフバランス代表取締役社長 小室淑恵氏、育児情報誌「miku」編集長 高祖常子氏、昨年度認定企業の港シビル(株)代表取締役 倉本眞澄氏の4名が出演し、ワークライフバランスの推進は、企業経営にとってどのようなメリットがあり、効果を及ぼすのか、ワークライフバランスを実現するためには、企業や個人にとって何が重要なのかについて、それぞれの立場で語られました。



小室 淑恵氏(株)ワーク・ライフバランス)
WLBは時代と共に変化し、誰もが直面する介護と仕事の両立が今後ますます必要となる現在において、生産性の向上には全社員で臨めるよう、WLBに対する社員の意識を高めること、仕事の風人化を排除することが重要です。人生を評価するのは会社ではなく、家族です。人生の満足度が上がるよう、家族と向き合う時間を増やすべきだと思います。



高祖 常子氏(育児情報誌「miku」編集長)
長時間労働のワーキングマザーがいる一方、仕事を辞めざるを得ない母親もいる現在において、柔軟な働き方の整備が重要だと思えます。仕事と育児両方をこなすのが母親だけにならないよう、父親も育児に参画すること。父親がコミュニケーションをとる時間を作ることも必要です。



倉本 眞澄氏(港シビル(株) 昨年度認定企業)
長時間労働が当たり前の建設業界の働き方を変えるため、当社では、8年前よりWLBに取り組み、社員のやる気や仕事に対する満足度も高まりました。生産性の向上や、優秀な人材確保にも繋がるため、中小企業の経営者こそWLBに取り組むべきです。

基調講演「個人も社会も成長するワークライフバランス」 (株)東レ経営研究所 特別顧問 佐々木常夫氏

WLBとは、個人も会社も共に成長する経営戦略です。会社の仕事を定時に終えて、自分の生活を充実しようというのではなく、定時に帰っても、それと同じかそれ以上の仕事の結果を出さなければならぬものです。

WLBは、仕事の改革があって初めて実現できるものです。特に、タイムマネジメントを実践するために、デッドラインを意識した計画を作成するとともに、業務の達成度を検証し、業務効率を高めることが必要です。また、トップを含めた組織全体の意識改

革や、働きやすい仕組み作り等にも合わせて取り組むことが求められます。

WLBの推進は、少子高齢化社会に伴い、育児・介護など時間に制約がある人が増加する現代においてますます重要です。個人にとっては、私生活上での様々な情報収集を通じて、自己の成長や意欲の向上に繋がり、企業にとっても、優秀な人材の確保、生産性の向上のほか、長時間労働に起因するメンタルヘルス対策として有益です。



主催：東京都

共催：子育て応援とうきょう会議

問い合わせ先

ワークライフバランスフェスタ東京2013事務局
〒112-0004 東京都文京区後楽2-13-10 株ムラヤマ内 TEL:03-3813-1735 FAX:03-3813-1785
東京都産業労働局 雇用就業部 労働環境課 雇用平等推進係
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁第一本庁舎31F TEL:03-5320-4649 FAX:03-5388-1469

後援：東京労働局、東京商工会議所、東京経営者協会、東京都中小企業団体中央会、東京都商工会連合会、(社)東京工業団体連合会、東京中小企業家同友会、日本労働組合総連合会東京都連合会、東京地方労働組合評議会、(公財)日本生産性本部、独立行政法人労働政策研究・研修機構、(財)21世紀職業財団、(公財)東京都中小企業振興公社、(公財)東京しごと財団

※WLB=ワークライフバランスの略



www.WLB-FESTA.metro.tokyo.jp